

平成28年度 (第12期) 事業報告

平成28年度 (第12期) 決算報告

平成29年度 (第13期) 事業計画

平成29年度 (第13期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

第 12期 事業報告

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き休耕田の復田作業や薬剤を減らした環境に優しい水稻の生産を行うとともに、水田型市民農園の運営及び自然環境維持管理業務等のほか、コウノトリ飼育事業に取り組んでまいりました。

船形地区においては、生産調整事業である麦及び大豆の生産・販売を行ってまいりました。

受託事業としては、野田市堆肥センター運營業務、小船橋水辺公園管理業務、東葛飾地域農林業センター運營業務等を行ってまいりました。

なお、農業経営については、効率的経営や品質向上に努めてまいりました。しかし、平成28年8月30日の台風10号による大雨の影響で、江川地区の水稻に大きな被害が発生し、大幅な収穫減となりました。

1 江川地区の農業事業

(1) 水稻の生産

約5.8ヘクタールの田んぼに作付けを行い、4月29日の田植から水管理と除草作業を主に行い8月28日に稲刈りを開始しましたが、8月30日の台風10号及び9月の長雨の影響で刈取り作業は難航し、予定した収穫量を得ることができませんでした。結果は次のとおりです。

品 種 名	収 穫 量	JA 出荷米	市民農園配布	一般販売	その他
コシヒカリ	5,861kg	1等 1,071kg 2等 1,622kg	1,408kg	122kg	1,638kg

(2) 市民農園

市民農園はファミリー型、オーナー型の2種類を企画し田植から、草取り、稲刈りまでの技術指導や自然体験イベント、ホタル観察会、収穫祭等を行い自然環境に配慮した市民農園を運営してまいりました。

水田ファミリー型	水田オーナー型
105区画	16区画
公募による一般市民及び賛同者 (1区画当たり30㎡)	NPOちば支援センター 自然保護団体関係者等 (1区画当たり150㎡)
105名	222名
合計	327名

(3) 学校協力

福田第一小学校児童37名、福田第二小学校児童20名、合計で約57名を対象に田植・生育調査・稲刈りを体験学習として実施いたしました。

2 船形地区の農業事業

(1) 生産調整事業

米の生産調整事業であり、水田で麦や大豆を生産することにより補助金収入を得るものです。当社としては麦を基幹作物としており大麦の品種は「カシマムギ」を、小麦の品種は「さとのそら」を栽培しました。

また、二毛作作物の大豆については「タチナガハ」「フクユタカ」「サチユタカ」の3品種を栽培しました。

(2) 農業生産

平成29年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーション（ブロック1）及び固定団地合わせて約60ヘクタールの水田を船形互助転作組合との協議により借地いたしました。また、借地期間は1年とし、毎年10月1日から翌年9月30日まで借用しますが、大豆を作付けする水田については、更に翌年2月頃まで借用します。なお、遊休農地（畑）3.7ヘクタールにも大麦を作付けしました。

- ① 平成28年産麦については、平成27年11月から12月にかけて、大麦は10.2ヘクタールに播種、小麦は53.5ヘクタールに播種し、大麦は5月に、小麦は6月に刈取りをしました。収穫の状況については次のとおりです。

区 分		J A出荷	種子更新	ク ズ	総収量
品 種	作付面積				
大麦(カシマムギ)	10.2ha	1等 18 t 2等 9.8 t	1 t	7.2 t	36 t
小麦(さとのそら)	53.5ha	1等 102 t 2等 60 t	5 t	3 t	170 t
合 計	63.7ha	189.8 t	6 t	10.2 t	206 t

- ② 平成29年産麦については、平成28年11月5日から大麦は「カシマムギ」を約10ヘクタール、小麦は「さとのそら」を約54.9ヘクタールに播種し、赤カビ病予防の殺菌剤の散布等生育状況に合わせた管理をしております。

- ③ 大豆については、麦作の裏作としてタチナガハは7月に固定団地及びブロック3の一部に播種、フクユタカ及びサチユタカは7月にブロック3の一部に播種し12月に収穫しました。収穫の状況については次のとおりです。

単位：kg

区 分		販 売		種子更新	ク ズ	総収量
品 種	作付面積	J A出荷	小 売			
タチナガハ	18.6ha	3等 13,320 合格 900	900	1,440	1,690	18,250
フクユタカ	9.8ha	2等 7,860 合格 2,580	1,740	1,080	1,350	14,610
サチユタカ	12.4ha	2等 9,450 3等 3,990	0	900	1,460	15,800
合 計	40.8ha	38,100	2,640	3,420	4,500	48,660

④ ブロックローテーション面積

ブロック1 約54.6ヘクタール

ブロック2 約55.8ヘクタール

ブロック3 約69.4ヘクタール

⑤ 固定団地面積

船形富士の下 約5.2ヘクタール

3 農業受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務委託事業

小船橋水辺公園管理業務については、市民の憩いの場としてレクリエーションや休憩など気軽に利用できる施設管理を行ってまいりました。

園内の管理	受託面積 約1.3ヘクタール
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年2回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年1回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週1回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週1回実施

(2) 自然環境維持管理作業

江川地区の自然環境調査、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米づくりの実施等について、野田市の策定する「自然環境保護対策基本計画」に基づき維持管理を行いました。

(3) 野田市堆肥センター運營業務委託事業

廃棄物の発生抑制及び再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進す

ることにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理を行ってまいりました。

もみ殻と牛ふんを使った有機堆肥の生産と運搬散布を行い、また、稲わら牛ふん堆肥の試験的な散布を行うなど、市独自の有機堆肥を使って生産した農産物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。

また、新たな取組として、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、8月から10月にはSGS（ソフトグレインサイレージ）による飼料用米の粳米粉砕を実施いたしました。

搬入量

- ・もみ殻回収量・・・・・・・・・・約668トン
- ・剪定枝・刈草・落葉搬入量・・・・約5,102トン

搬出・運搬量

- ・剪定枝等堆肥の搬出量・・・・約1,642トン
- ・もみ殻牛ふん堆肥の運搬量・・・・約1,219トン
- ・稲わら牛ふん堆肥の散布量・・・・約103トン

飼料用米粉砕加工量

- ・一般米・・・・・・・・・・約36トン
- ・専用米・・・・・・・・・・約38トン

(4) 東葛飾地域農林業センター施設管理業務委託事業

農林業センターの目的は、地域農林振興を図り、農林業者の研修、後継者の育成及び交歓、相談等により地域農林業の向上及び自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進することから、目的達成のため施設の管理を行ってまいりました。

(5) 休耕地草刈業務委託事業

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため除草作業を実施しました。

(6) 関宿落堀ビオトープ管理業務委託事業

関宿落堀ビオトープの除草作業3回並びに月1回の見回り及びゴミ拾いを実施しました。

4 補助金関係

(1) 畑作物の直接支払交付金における面積払の交付金

麦及び大豆の栽培面積に対する交付金

(2) 米の直接支払交付金

江川地区のコメの作付面積に対する交付金

(3) 水田活用の直接支払交付金

船形地区の互助転作の麦及び大豆の作付面積に対する交付金

(4) 畑作物の直接支払交付金における数量払い

麦の生産量と品質区分ごとに設定した単価による交付金

- (5) 大規模ブロックローテーション促進事業補助金
麦作面積に対する補助金
- (6) 転作定着化促進事業補助金
野田市農業再生協議会からの補助金
- (7) 集団転作推進対策事業補助金
江川地区の保全管理に対する補助金
- (8) 病虫害防除薬剤購入費用補助金及び地上防除奨励金
麦及び大豆用薬剤購入費用及び防除奨励金
- (9) 野田市新規就農支援事業補助金
市と協働で就農支援事業を実施する事業者に対する補助金

5 コウノトリ飼育及び飼育施設管理業務委託事業

平成28年4月1日から平成29年3月31日までコウノトリ飼育等業務を受託し、国の特別天然記念物コウノトリの飼育管理を行うとともに、産卵、孵化、育雛等飼育員の知識や技術向上のための各種研修に参加しました。また、飼育施設の管理、視察や見学者の対応などを行いました。

特に、6月4日には、兵庫県立コウノトリの郷公園と交換した有精卵から孵化した雛2羽の試験放鳥が野田市こうのとりの里で行われました。放鳥式典の中で、放鳥する雛2羽の命名式が行われ、1羽目のオスがきずな、2羽目のオスがひかると命名されました。

今回の放鳥は、昨年同様ソフトリリースで、放鳥した2羽を育てたコウくんとコウちゃんがいるケージの屋根を開放し、雛は自然に飛んでいき、ケージに戻ってこることもできる方式でした。式典の後に2羽はケージを飛び立ち、ひかるにいたっては約2カ月間江川地区に滞在しました。

江川地区を離れ飛び去った後に、ひかるは神奈川県で釣り糸と釣り針が嘴に絡まる事故がありましたが、自然と外れ、愛知県でほかのコウノトリと一緒にいる姿が目撃されました。昨年放鳥したメスの未来も、奈良県でほかのコウノトリと一緒に行動する姿が目撃されています。

今年の産卵は昨年より早く1月28日に1卵目の産卵を確認いたしましたが、埼玉県こども動物自然公園の卵を譲り受け、托卵による孵化を行う事がIPPM-OWS（コウノトリの固体群管理に関する機関・施設間パネル）により決定されていたことから、擬卵と交換して抱卵をさせていました。しかし、2月3日に東京都足立区で回収された野鳥の死亡個体から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出され、野田市こうのとりの里でも2月8日から3月31日まで展示を中止し、野鳥の侵入防止対策を行ったケージへ移動して飼育が行われました。捕獲や飼育環境の変化のストレス等から、擬卵や産卵した卵を投げ捨てる行動が確認されましたが、擬卵を巣に括り付けて卵を抱く癖をつけさせ、3月30日に埼玉県こども動物自然公園から4個の卵を野田市こうのとりの里に移動し、3月31日に托卵を行いました。

なお、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの、コウノトリ観察棟入場者は7,653名（来館名簿記入者）でした。

6 就農支援事業

市と協働で新規就農希望者に対して事業を実施しました。生産は、枝豆、ホウレンソウ、キャベツ、白菜、モロヘイヤ、春菊を栽培し、総収量10,284キログラムを大田市場へ出荷しました。また、大根は4月中旬出荷、枝豆は5月下旬出荷、人参は6月出荷を目標に播種しました。

- ・新規就農者の雇用4名（平成27年度から継続）
- ・遊休農地の解消約170アール

7 講習会等への参加

業務の健全な運営のため、各種技能講習及び研修を受講いたしました。

- (1) 車両系建設機械（整地）運転技能講習・・・1名
- (2) 車両系建設機械（解体用）運転技能講習・・・1名
- (3) 刈払い機安全衛生教育・・・6名
- (4) 千葉県農薬管理指導士研修・・・3名
- (5) 田んぼの学校指導者養成研修・・・2名
- (6) 自然と共生する里づくりシンポジウム・・・1名
- (7) コウノトリ保全国際会議・・・2名
- (8) コウノトリ採餌環境モニタリング調査研修・・・1名
- (9) コウノトリ・トキの舞う地域づくりシンポジウム・1名
- (10) 生物の多様性をはぐくむ農業国際会議・・・8名
- (11) 田園自然再生活動の集い・・・4名
- (12) サントリ天然水の森フォーラム2016・・・5名
- (13) 法蓮草病害虫防除講習会・・・4名
- (14) 管理監督者職場リーダー研修・・・1名
- (15) 健康保険委員研修・・・1名
- (16) 柏労働基準協会健康講演会・・・2名
- (17) 安全防災協議会研修会・・・3名
- (18) 全国安全週間事前説明会及び事例発表会・・・2名
- (19) AED講習・・・2名

8 ホームページについて

事業PRを実施するため、適時更新を行いました。

9 機械稼働状況

機 種	積算時間	稼働時間	主な作業内容
トラクターEG441	2,755	477	耕運・播種作業等
トラクターEG445	3,217	573	耕運・播種作業等
トラクターAF650	283	3	耕運・播種作業等
トラクターEG453	577	444	耕運・播種作業等
コンバインGC980	1,316	137	収穫作業
コンバインAG1100	577	146	収穫作業
乗用管理機丸山	940	269	薬剤散布作業

トラクターCT226 (1号機)	2,451	471	耕運作業等
トラクターCT226 (2号機)	1,803	252	耕運作業等
コンバイン4条GC441	593	36	収穫作業
トラクターEG441	323	258	畑作業
田植機VP1-PW (2台)	2台合計約35時間		稲の植付け作業
田植機VP1-A	約15時間		

10 取締役及び他の役員

区 分	氏 名	備 考
代 表 取 締 役	鈴木 有	野田市市長
常 務 取 締 役	木全 敏夫	
取 締 役	吉川 宏治	野田市建設局長
取 締 役	町田 藤夫	野田市自然経済推進部長
取 締 役	瀬能 建市	
取 締 役	伊藤 敏弘	
取 締 役	佐賀 悦男	
取 締 役	菅澤 治	
会 計 参 与	秋葉 芳秀	税理士
監 査 役	濱田 宏志	税理士

11 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

(1) 株主数…………… 6名

(2) 株主

株 主 名	持 株 数	持株比率
千葉県野田市	6,206株	99.9195%
瀬能 建市	1株	0.0161%
伊藤 敏弘	1株	0.0161%
木全 敏夫	1株	0.0161%
佐賀 悦男	1株	0.0161%
菅澤 治	1株	0.0161%

12 経過概要

4月22日	(金)	大麦殺虫殺菌剤散布
4月29日	(金)	市民農園田植え
5月19日	(木)	大麦刈取り開始(31日終了)
5月24日	(火)	定時取締役会(取締役の辞任、第11期事業報告及び決算報告書の承認、取締役候補者の選定、定時株主総会の招集)
5月25日	(水)	コウノトリ一斉捕獲
5月26日	(木)	J Aちば東葛大規模営農組織協議会
5月31日	(火)	定時株主総会(第11期事業報告、第11期決算報告書の承認、取締役1名の選任、役員報酬の決定)
6月2日	(木)	モロヘイヤ定植開始
6月3日	(金)	枝豆査定会 小麦刈取り開始(19日終了)
6月4日	(土)	コウノトリ試験放鳥
6月7日	(火)	大麦検査(1等18t、2等9.8t)
6月12日	(日)	市民農園第1回草取り・7月3日2回目草取り
6月24日	(金)	刈払機取り扱い作業安全衛生教育
6月27日	(月)	臨時取締役会(取締役候補者の選定、臨時株主総会の招集)
		臨時株主総会(取締役1名選任)
		臨時取締役会(代表取締役1名選任)
7月4日	(月)	新代表取締役就任
7月14日	(木)	小麦検査(1等102t、2等60t)
7月15日	(金)	千葉県農薬管理指導士更新研修会・キャベツ播種開始
7月27日	(水)	AED講習会(東葛飾地域農林業センター)
7月28日	(木)	臨時取締役会(監査役候補者の選定、臨時株主総会の招集)
		臨時株主総会(監査役1名選任)
8月10日	(水)	キャベツ定植開始
8月24日	(水)	刈払機取り扱い作業安全衛生教育
8月28日	(日)	市民農園稲刈り・白菜播種開始
8月31日	(水)	定時取締役会(利益相反取引、第12期第1四半期事業報告、船形事業所乾燥施設修繕に係る補正予算の承認)
9月6日	(火)	健康保険委員研修会
9月13日	(火)	管理監督者・職場リーダーのためのラインケアセミナー研修
9月30日	(金)	白菜定植開始
10月2日	(日)	市民農園収穫祭
10月7日	(金)	J Aちば東葛大規模営農組織協議会
10月12日	(水)	ほうれん草播種開始
11月5日	(土)	大麦(カシマムギ)播種開始
11月7日	(月)	小麦(さとのそら)播種開始
11月16日	(水)	キャベツ出荷開始
11月22日	(火)	定時取締役会(第12期第2四半期事業報告、第12期上半期経営状況)
11月30日	(水)	コウノトリ一斉捕獲・ケージ整備、大豆収穫開始
12月7日	(水)	稲わら牛ふん堆肥散布開始
12月21日	(水)	大豆収穫終了
1月18日	(水)	大豆検査(2等577袋、3等469袋、合格116袋)
1月27日	(金)	大豆検査(3等108袋)
2月8日	(水)	こうのとりの里鳥フル対策のため臨時休館
2月9日	(木)	J Aちば東葛大規模営農組織協議会
2月17日	(金)	船形水辺広域協定運営委員会
2月18日	(土)	田んぼ10年全国集会
3月23日	(木)	野田市畜産クラスター推進協議会
3月28日	(火)	定時取締役会(第12期第3四半期事業報告、利益相反取引、平成28年度冬期湛水事業中止及びこうのとりの里臨時休館、第13期事業計画案及び予算案の承認、利益相反取引)
3月31日	(金)	コウノトリ托卵開始

第 1 2 期

決 算 報 告 書

平成 28 年 4 月 1 日 から

平成 29 年 3 月 31 日まで

株 式 会 社 野 田 自 然 共 生 フ ァ ー ム

貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 鈴木 有

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産 (108,541,402)	I 流 動 負 債 (42,878,477)
現金及び預金	87,092,715	未 払 金	5,508,390
売 掛 金	154,908	未 払 費 用	3,110,003
たな卸資産	15,229,169	未 払 法 人 税 等	322,000
未 収 入 金	6,087,690	未 払 消 費 税 等	2,987,400
仮 払 金	4,920	前 受 金	27,332,722
貸 倒 引 当 金	△ 28,000	仮 受 金	1,422,962
		賞 与 引 当 金	2,195,000
II 固 定 資 産 (247,847,798)	II 固 定 負 債 (13,666,666)
有形固定資産 (247,728,758)	長 期 借 入 金	10,666,666
建 物	26,713,792	退 職 給 付 引 当 金	3,000,000
構 築 物	5,298,951		
機 械 及 び 装 置	28,453,785		
車 両 運 搬 具	1,363,246		
工 具、器 具 及 び 備 品	4,217,562		
建 物 附 属 設 備	6,706,010		
土 地	174,908,745		
一 括 償 却 資 産	66,667		
無形固定資産 (50,000)		
保 証 金	50,000		
		負 債 の 部 合 計	56,545,143
		(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本 (299,930,783)
		1. 資 本 金	100,000,000
		2. 資 本 剰 余 金 (183,032,296)
		(1) 資 本 準 備 金	155,275,000
		(2) そ の 他 資 本 剰 余 金 (27,757,296)
		そ の 他 資 本 剰 余 金	27,757,296
		3. 利 益 剰 余 金 (16,898,487)
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金 (16,898,487)
		繰 越 利 益 剰 余 金	16,898,487
		II 評 価・換 算 差 額 等 (0)
III 繰 延 資 産 (86,726)		
水 道 加 入 金	86,726	III 新 株 予 約 権 (0)
		純 資 産 の 部 合 計	299,930,783
資 産 の 部 合 計	356,475,926	負 債・純 資 産 の 部 合 計	356,475,926

損 益 計 算 書

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

平成28年 4月 1日から

平成29年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 売上高 農産物売上高 業務受託収入 市民農園収入等 作付助成金・交付金収入	11,142,723 95,132,114 900,649 73,818,766	180,994,252	180,994,252
II 売上原価 期首たな卸高 商品仕入高 当期農業原価 合期末たな卸計 売上総利益	9,259	0 9,259 177,588,847 177,598,106 0	177,598,106 3,396,146
III 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費 営業損失		32,147,067	32,147,067 28,750,921
IV 営業外収益 受取利息 一般補助金収入 受取配当金 雑収入		4,901 8,357,348 150 15,111,298	23,473,697
V 営業外費用 支払利息 繰延資産償却		36,800 17,638	54,438
経常損失			5,331,662
VI 特別利益 農業経営基盤強化準備金戻		7,100,000	7,100,000
VII 特別損失 固定資産売却除却損 過年度就農支援補助金返金		1 2,760,087	2,760,088
税引前当期純損失 法人税、住民税及び事業税		322,770	991,750 322,770
当期純損失			1,314,520

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成 28 年 4 月 1 日 から
平成 29 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
広 告 宣 伝 費	37,000
発 送 配 達 費	142,444
販 売 手 数 料	475,287
イ ベ ン ト 費 用	170,989
役 員 報 酬	7,719,840
事 務 員 給 与	11,449,278
従 業 員 賞 与	1,811,000
法 定 福 利 費	2,579,149
厚 生 費	94,070
退 職 金	240,000
減 価 償 却 費	68,765
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	1,067,520
修 繕 費	44,800
事 務 用 消 耗 品 費	1,148,208
通 信 費	1,270,317
水 道 光 熱 費	169,091
租 税 公 課	473,900
寄 付 金	71,700
接 待 交 際 費	67,419
保 険 料	51,000
備 品 消 耗 品 費	1,012,035
管 理 諸 費	1,387,696
函 書 費 ・ 研 修 費	21,526
交 通 費	309,688
貸 倒 償 却	28,000
雑 費	236,345
合 計	32,147,067

たな卸資産の計算内訳

平成 29 年 3 月 31 日 現 在

(単位:円)

科 目	金 額
農 産 物	1,184,533
原 材 料	18,300
未 収 穫 農 産 物	11,133,519
貯 蔵 品	2,892,817
合 計	15,229,169

農 業 原 価 報 告 書

平成 28 年 4 月 1 日 から
平成 29 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
I 材 料 費	
期首材料たな卸高	0
種 苗 費	500,625
合 計	500,625
期末材料たな卸高	18,300
当期材料費	482,325
II 労 務 費	
賃 金	62,664,148
賞 与	8,766,000
退 職 金	300,000
法定福利費	11,174,359
厚生費	1,655,781
当期労務費	84,560,288
III 経 費	
肥料費・農薬衛生費	9,846,792
外注作業費	1,178,219
電 力 費	2,286,953
軽灯油等燃料費	9,574,940
運 賃	299,447
減 価 償 却 費	16,074,126
修 繕 費	13,641,977
租 税 公 課 ・ 負 担 金	941,900
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	23,154,665
共 済 掛 金 ・ 保 険 料	2,439,041
諸 資 材 費	8,594,264
農 具 費	160,659
交 通 費	1,517,268
函 書 費 ・ 研 修 費	277,326
車 両 関 係 費	2,281,693
土地改良費・水利費	2,252,031
雑 費	620,877
当期経費	95,142,178
当期総農業費用	180,184,791
期首農産物等棚卸高	9,722,108
合 計	189,906,899
期末農産物等棚卸高	12,318,052
当期農業原価	177,588,847


(監査報告書の写し)

監査報告書

株式会社野田自然共生ファームの第12期(自平成28年4月1日
至平成29年3月31日)貸借対照表、損益計算書及び附属明細書
について監査した結果、いずれも会社法の規定に準拠し、適正に処
理されていると認めます。

平成29年5月11日

株式会社野田自然共生ファーム

監査役 濱田宏志 

第13期 事業計画

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

江川地区において、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻の生産を行うとともに、水田型市民農園及び自然環境維持管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

船形地区においては、麦及び大豆の生産・販売を行ってまいります。

受託事業としては、小船橋水辺公園の管理業務、コウノトリ飼育及び施設管理業務、東葛飾地域農林業センターの管理業務等のほか、野田市の農業関係施設の管理業務を行ってまいります。

また、就農支援事業においては、枝豆及びホウレンソウ等を中心とした野菜の生産・販売を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定経営を目指してまいります。

1 江川地区の農業事業

近年圃場の含水率が高く、冬場でも水が抜けないなど、水稻作付けが困難な圃場が出てきておりますので、当面は冬期湛水面積を減らすなどの対策を行いながら圃場の再整備を図り、収穫量増を目指してまいります。

(1) 圃場整備作業

水稻生産予定区域において圃場整備作業を実施する。

- 作業内容
- ア 除草作業
 - イ 水路の整備作業
 - ウ 均平・整地作業
 - エ 畦畔整備作業

(2) 水稻生産

- ①生産目標面積 約 5ヘクタール（市民農園圃場含む）
- ②目標収穫量 約 9トン

(3) 市民農園の実施

面積 約 2.1ヘクタール

(4) エコロジカルネットワークへの取組

- ①コウノトリ野生復帰計画への全面的協力
- ②水路整備（魚道整備含む）
- ③里地里山の保全

(5) ビオトープ保全管理

当社所有農地で、耕作をしていない約25ヘクタールの農地及びその周辺の民地で耕作をしていない農地、あわせて約47ヘクタールにおいてビオトープ保全管理のため除草を行ってまいります。

2 船形地区の農業事業

(1) 麦及び大豆の生産

米の生産調整のための事業であり、水田における麦及び大豆の生産については、船形地区の水田を船形互助転作組合から借地して行うもので、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受けて、栽培基準に基づき作業管理を行うとともに、従業員の研修を通し、栽培技術のレベルアップと平準化を図り、品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年1回
研修会	社内外研修会	年4回程度
販路の拡大	販売店舗の拡大・ネットワークの活用	
平成29年産麦生産目標 (平成29年6月収穫予定)	作付面積 65ヘクタール 大麦(カシマムギ) 10ヘクタール 小麦(さとのそら) 55ヘクタール 目標収穫量 209トン 大麦 27トン 小麦 182トン	
平成30年産麦生産目標 (平成29年11月播種予定)	作付面積 79ヘクタール 大麦(カシマムギ) 10ヘクタール 小麦(さとのそら) 69ヘクタール	
平成29年産大豆生産目標 (平成29年12月収穫予定)	作付面積 37ヘクタール タチナガハ 14ヘクタール フクユタカ 11ヘクタール サチユタカ 12ヘクタール 目標収穫量 61トン タチナガハ 21トン フクユタカ 20トン サチユタカ 20トン	

3 農業受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を次のとおり行ってまいりました。

平成29年度も継続して管理を受託しようとするものです。

園内の管理		
除草・芝刈り	雑草の除草作業と芝生の刈取り	年2回
高木の剪定	枝の剪定と整枝作業	年1回
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃	週1回
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回	週1回

(2) 自然環境維持管理業務

江川地区の自然環境調査、自然観察会における指導、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米作りの実施及び補完作業を行ってまいりました。

平成29年度も野田市が策定している「自然環境保護対策基本計画」に基づき受託しようとするものです。

(3) 農業関係施設の運營業務

①野田市堆肥センター運營業務

廃棄物の発生抑制及び再利用を促進し、剪定枝、刈草及び落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布、また、稲わら牛ふん堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。

平成29年度も継続して運営を受託しようとするものです。

②東葛飾地域農林業センター施設管理業務

地域の農林振興を図るため、農林業者の研修及び後継者の育成、交歓、相談等により地域農林業の向上及び自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。

平成29年度も継続して施設管理を受託しようとするものです。

(4) 休耕地草刈業務

希少生物の保護を目的として船形はきだし沼周辺の休耕地の草刈り等について、平成29年度も継続して受託しようとするものです。

(5) 関宿落堀ビオトープ管理業務

平成27年度から受託しており、年3回の草刈り及び月1回の見回り等の管理を行ってまいりました。

平成29年度も継続して受託しようとするものです。

4 コウノトリ飼育事業

野田市において平成24年12月4日から飼育を開始した国の特別天然記念物コウノトリについて、毎年孵化し、2年連続で試験放鳥するなど順調に飼育管理をしてまいりました。

平成29年度も継続して受託しようとするものです。

5 就農支援事業

枝豆、ホウレンソウ、キャベツ等の栽培を計画しております。作付けする畑地については、約1.7ヘクタール借地しておりますが、栽培の状況に応じて拡大し、売上げは、年度間500万円を目標としております。

第13期予算

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日 単位:千円

収 入				支 出				
項 目	予 算 額			項 目	予 算 額			
	第12期	第13期	比較		第12期	第13期	比較	
1 農業生産売上	69,389	45,358	-24,031	1 農業製造原価	187,165	187,096	-69	
(1)水稲売上	2,000	2,000	0	(1)材料費	324	324	0	
(2)麦売上	2,800	2,800	0	(2)労務費	38,164	38,336	172	
(3)大豆売上	7,000	7,000	0	(3)農業経費	53,242	45,716	-7,526	
(4)市民農園売上	700	672	-28	①肥料費・農薬衛生費	6,836	7,581	745	
(5)経営所得安定対策等(国)	56,889	32,886	-24,003	②電力費	820	908	88	
2 農業受託売上	102,393	111,017	8,624	③軽灯油等燃料費	2,402	2,350	-52	
受託業務	①小船橋水辺公園管理業務	1,355	1,448	93	④修繕費	11,913	3,893	-8,020
	②自然環境維持管理業務	3,559	3,197	-362	⑤賃借料・リース料	2,465	2,908	443
	③堆肥センター運営業務	77,982	87,728	9,746	⑥共済掛金・保険料	2,170	1,962	-208
	(堆肥センター)	41,377	49,505	8,128	⑦麦団地賃借料	19,198	19,900	702
	(もみ殻施設)	36,605	38,223	1,618	⑧土地改良費・水利権	2,087	2,083	-4
	④農林業センター運営業務	2,085	2,140	55	⑨その他	5,351	4,130	-1,221
	⑤休耕地草刈	181	181	0	(4)小船橋水辺公園	1,064	1,064	0
	⑥コウノトリ飼育等業務委託業務	16,875	15,087	-1,788	(5)自然環境維持	3,314	2,978	-336
	⑦冬期湛水水田管理委託	0	880	880	(6)堆肥センター	74,545	83,860	9,315
⑧関宿落堀ビオトープ管理業務	356	356	0	(7)休耕地草刈	181	181	0	
3 補助金収入	31,657	35,796	4,139	(8)コウノトリ飼育等	15,990	14,296	-1,694	
(1)県補助金	6,075	6,207	132	(9)関宿落堀ビオトープ	341	341	0	
(2)市補助金	4,529	4,026	-503	2 販売及び一般管理費	20,975	19,289	-1,686	
(3)就農支援事業	18,290	22,800	4,510	(1)農林業センター	2,085	2,141	56	
(4)転作定着化促進事業	0	0	0	(2)人件費等	14,545	13,059	-1,486	
(5)地上防除奨励金・薬剤購入補助金	2,763	2,763	0	(3)農業経費その他	4,345	4,089	-256	
4 雑収入	13,800	13,800	0					
補償料等	13,800	13,800	0					
小計	217,239	205,971	-11,268	小計	208,140	206,385	-1,755	
5 資本金・資本準備金	13,052	32,491	19,439	3 就農支援事業費	18,290	22,800	4,510	
				4 退職金積立金	540	552	12	
				5 機械購入費	2,784	8,188	5,404	
				6 農地取得費	537	537	0	
小計	13,052	32,491	19,439	小計	22,151	32,077	9,926	
合 計	230,291	238,462	8,171	合 計	230,291	238,462	8,171	